

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農薬使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報

第3号

果樹

発行日 平成24年 5月31日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「http://i-agri.net」 携帯電話からは「http://i-agri.net/agri/i/」

- ◆ りんごの開花は概ね平年並となりました(昨年より4日程度早い)！しかし、花数(花芽)が多いため、小玉果が懸念されます。摘果作業を急ぎましょう。
◆ ぶどうの生育も概ね平年並となりましたが、今後の気温の推移により早まる場合があります。計画的に開花期前後の管理を進めましょう！

りんご

1 生育概況

県内の定点観測調査結果(表1)によると、4月上旬までの低温により発芽・展葉は遅れましたが、4月下旬から5月初旬に気温が高め推移したため、ふじの開花は概ね平年並(1日の遅れ)となり、昨年より3~4日程度早くなりました。

結実の状況はまだ判りませんが、開花期間中の5月中旬に気温が低く推移したため(図1)、地域により結実率に差が生じる可能性があります。

また、一昨年の猛暑の影響により、昨年は花芽が少なくなりました。その影響により、今年は花芽の量が多く、小玉果が懸念されます。開花は平年並みまで回復しましたが、早期摘果、早期適正着果に努めてください。

表1 定点観測地点のふじの開花状況

Table with columns: 市町村, 開花始(月/日), 満開期(月/日), 落花期(月/日), and 開花期の平年・前年差(±日). Rows include various municipalities like 岩手町一方井, 盛岡市三ツ割, etc., and a final row for 県平均(参考).

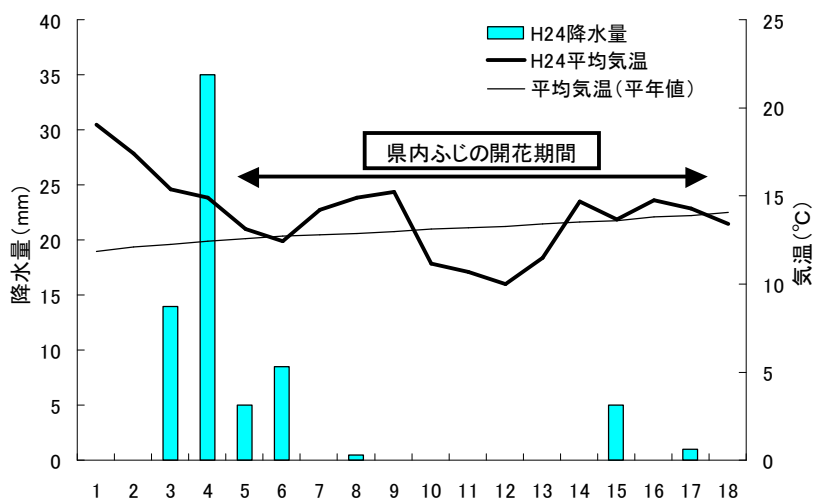


図1 開花期間中(5月)の気象経過
(アメダス盛岡観測点)

2 摘果

- (1) 本年は花芽が多いため小玉果となる可能性があります。そこで、あら摘果をできるだけ早めに行い、果実の生育を助けるとともに、隔年結果を防ぐことが重要です。なお、花芽は多いものの昨年も夏季の気温が高く推移したため、地域によっては弱小花芽が多く、開花についても1園地内や1樹内でばらつきが見られています。各自の園地状況を確認し、品種構成や労力等に応じた作業スケジュールをたて、計画的に摘果作業を進めましょう。

表2 摘果時期が「ふじ」の当年及び翌年の果実品質、花芽率に及ぼす影響
(長野果樹試 平12~13年)

摘果時期	当年(平12)			翌年(平13)			
	収量(kg/樹)	平均果重(g)	糖度(%)	花芽率(%)	収量(kg/樹)	平均果重(g)	糖度(%)
あら7+仕60	23.9	348	16.6	75	39.6	327	15.2
あら17+仕60	24.0	311	16.1	59	30.5	305	15.3
あら28+仕60	22.4	309	16.0	44	24.1	303	15.3
あら37+仕60	24.0	311	16.1	28	19.9	318	15.6
あら51+仕60	24.8	269	16.1	20	12.3	299	15.3
仕60	24.9	290	16.4	25	16.6	329	14.9
仕74	23.7	281	16.5	4	3.3	255	14.7
仕94	21.2	280	16.7	2	1.1	297	14.7
対照区(無摘果)	53.4	189	13.8	2	2.6	310	14.8

摘果時期: あら摘果+仕上げ摘果の満開後日数を示す。仕のみは摘果を1回で実施した。

あら摘果: 頂芽の側果およびえき芽果の全果を摘み取った。

仕上げ摘果: 葉果比50~60の基準で摘果した。

翌年(平13)の摘果: 全区ともあら摘果満開30日後、仕上げ摘果満開60日後に実施した。

(2) 摘果の留意点

- ア 最初に、1果そう1果とするあら摘果を実施します。その際、不要な果そうの果実を積極的に除いていきます。その後、果実肥大や品質を確認しながら仕上げ摘果を進めます。
- イ 摘果終了の目安は表3の通りですが、平年より開花期が遅いことから、落花30日後は6月下旬頃になります。作業を計画的に進め、早期摘果を心がけてください。
- ウ 三角実や扁平果など、果形の悪い果実、病虫害果、傷果を中心に摘果していきます。
- エ 果実は横の発育が良く、果硬が太くて長い正形果を残します。
- オ 果台が極端に長いものや短いものは、斜形果の発生割合が高くなるので、できるだけ摘果します。

表3 品種別作業手順

項目	品 種	摘果完了時期
早期に行う品種	ふじ、つがる、王林、きおう、さんさ	落花25日後
後期に行う品種	ジョナゴールド、紅玉	落花30～35日後

3 病害虫防除

- (1) 病害虫防除所の発生現況情報（平成 24 年 4 月 26 日発行）によると、カメムシの越冬成虫及びアブラムシの発生は多く、その他の病害虫は平年並から少ない状況です。
 しかし、ハダニ類は気温の上昇とともに増える可能性がありますので、園地内を良く観察し、新梢葉で寄生葉率が 30%に達したら、速やかに防除を行ってください。
 腐らん病の発生園地では、病患部を発見しだい、切除、削り取るなど処置を施します。
- (2) 斑点落葉病や褐斑病は、これから梅雨期に入り、感染が増加する時期ですので、天気予報等を参考に降雨前の予防散布に努めましょう。
 また、キンモンホソガ、モモシクイガの発生時期となります。病害虫防除所が発表する情報を参考に、適期防除に努めましょう。
- (3) 交信かく乱剤を導入する園地では、6 月上旬までに剤を設置します。その際は、必ずフェロモントラップを設置して、随時交信かく乱効果を確認しましょう。
- (4) 平成 22 年に県内で初めて確認されたヒメボクトウの被害が県中南部を中心に広がっています。幼虫が枝幹内を食害する難防除害虫です。被害を受けた枝や主枝は、新たな発生源とならないよう早期に除去しましょう。

ぶどう

1 生育概況（表 4）

紫波町赤沢の定点観測によると、「キャンベル」の発芽は 5 月 2 日、展葉は 5 月 9 日とほぼ平年並となっています。これは 4 月末から 5 月初旬にかけて気温が高く推移したためと考えられます。その後の気温も概ね平年並みに推移しているため、新梢伸長も平年並みとなっています。これから開花期にかけては管理作業が重なり忙しくなります。計画的に作業を進めましょう。

表4 ぶどう(キャンベルアーリー:短梢)の生育状況(定点観測地点:紫波町)

調査年次	生態(月/日)					5月25日	
	発芽期	展葉期	開花期			新梢長 (cm)	節数 (葉数)
			開花始	満開期	落花期		
本年(H24)	5/2	5/9				27.3	4.4
平 年	5/3	5/10	6/15	6/18	6/22	24.9	4.9
前年(H23)	5/9	5/12	6/14	6/16	6/23	18.8	5.0
平年比	-1	-1				110%	90%
前年比	-7	-3				145%	88%

2 管理の要点

(1) 新梢の誘引

展葉 7～8 枚頃に 2 回目の芽かき作業に合わせて良く伸びた新梢から誘引します。

(2) 花穂の整理

ア 「キャンベル」、「ノースレッド」

開花前に弱い枝の花穂は除き、強い枝には 2 穂を着生させ、全体で目標着房数の 1～2 割増の着生数とします。

イ 「紅伊豆」、「ハニーブラック」、「安芸クイーン」

最終房数は 1 新梢 1 房とします。摘房の時期は、新梢の強弱を判断して強勢のものほど摘房を遅らせ、着色期を目途に最終着房数とします。

(3) 花振るい防止

ア 「キャンベル」は、強めの新梢を開花 7~4 日前に房先 5~7 枚残して摘心します。

イ 大粒種で花振るいが強い品種や園地では、メピコートクロリド液剤（フラスター液剤）を使用することにより花振るいを軽減できます。使用する際は、登録内容を十分に確認し、使用時期や希釈倍率に注意して使用してください。

(4) 花穂の整形 (図 2)

ア 「キャンベル」では、摘心作業と同時に花穂の副穂を切除し、下端を切り詰めます (尻止め)。

また、主穂が長すぎる場合は上段の枝梗を 1~2 段切除します。

イ 「紅伊豆」などの大粒種は、1~2 輪開花し始めた頃から先端部を切りつめます。「紅伊豆」では、副穂を切除し、主穂の基部から 4~6 段を切除して 10~13 段程度を残すように整形します。

ウ 「サニールージュ」では、開花初期 (副穂の開花が始まった頃) に副穂を除去し (長い花穂は上部支梗を 1~3 段除去)、花穂の長さを概ね 7~8cm とします。なお、花穂の先端は切りつめません。

エ 「シャインマスカット」では開花初期 (副穂の開花が始まった頃) に副穂と上部支梗を切除し、花穂の長さを概ね 4cm とします。花穂の先端は切りつめません。また、花穂先端が 2 つに分かれ使えない場合は、第 1 枝梗を利用します。

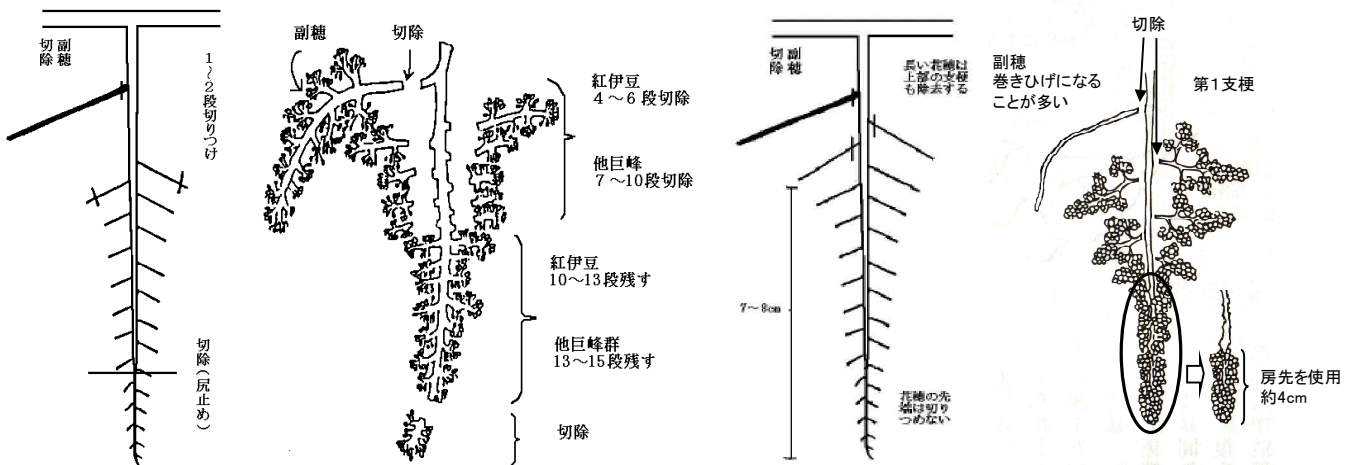


図 2 花穂の整形 (左からキャンベルアーリー、紅伊豆等大粒種、サニールージュ、シャインマスカット)

(5) ジベレリン処理

「デラウエア」や「アーリースチューベン」は開花前後の 2 回、ジベレリン処理することで、無核で果粒の肥大した早熟の果房が得られます。

「安芸クイーン」などの「巨峰系 4 倍体品種」、「サニールージュ」、「シャインマスカット」は無核化とともに果粒肥大促進を目的として利用されますが、樹勢が強く花振るいが多い場合、ジベレリン処理により着粒数を増加させることができます。また、「シャインマスカット」では、満開 14 日前~開花までの間にストレプトマイシン液剤 (商品名: アグレプト液剤) を散布することで無核化率が向上します。

なお、ジベレリンやアグレプト液剤を使用する際は登録内容を確認して利用ください。

3 病虫害防除

(1) ぶどうの開花期前後は、灰色かび病の発生時期です。生育ステージに合わせて、適期防除に努めましょう。なお、灰色かび病等の薬剤抵抗性回避のため、同一系統薬剤の連用はしないよう注意してください。

(2) 露地栽培で有袋栽培をする場合、防除後、薬剤が乾いたら速やかに袋かけをしましょう。

春の農作業安全月間実施中!

[4月15日]
[~6月15日]

農作業 笑顔の豊作 無事故から

次号は 6 月 28 日 (木) 発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。